

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2022 年度第 1 回短期大学会議教育改革 ICT 運営委員会議事録

- I. 日 時 令和 4 年 5 月 2 0 日（金）17：30～19：30
場 所 Zoom 会議室
- II. 出席者 戸高委員長、早坂委員、三田委員、西岡委員、後藤委員、大重委員
及川先生(山野美容理容短期大学)、治京先生(大阪夕陽丘学園短期大学)、
深町先生(和泉短期大学)、衛藤先生(別府大学短期大学部)
(事務局 井端事務局長、中村、山田)

III. 検討事項

検討事項に入るに先立ち、事務局から昨年度の第 4 回委員会において本年度の事業の進め方について検討した点について、概ね次の通りの報告・説明が行われた。....

- ① どの地域でどういう取組を実施し、大学としてどのように連携協力しているのか、大学の教育にどのように貢献しているのか、新しいメンバーシップの方が入ってこられるようにプラットフォームで紹介していく必要がある。
- ② プラットフォームにコンソーシアムの活動内容を体系的に掲載して、9 月に参加した短期大学に情報を発信し、コンソーシアムの新たなメンバーとして参加を促す必要がある。
- ③ 令和 4 年 5 月の総会までに、プラットフォームに支援事業の内容、教育活動のノウハウ、成果などのフォーマットを作り、それぞれ活動状況の情報を掲載する。その上で、一般の短期大学に向けて情報を公開していくために、私情協のホームページに掲載し、情報を発信することにした。

次いで、検討事項の 1 及び 2 について、資料①、②、③に沿って報告・説明が行われ、検討した。

1. Google Classroom への書込みと記述ルールについて

2. 今年度コンソーシアムの取組について

(高齢者支援事業、地域価値支援事業、地域課題取組み情報共有の支援事業)

- ① 大重委員から、資料①の 1 ページの通り Google Classroom のフォーマットの構成として、取組の目的・目標、取組の内容・状況、教育活動上の成果、地域貢献支援に対する理解促進及び推進等(苦労やアドバイス、質問等)についてのコメントが見られるよう提案が行われた。
- ② この提案に対して、2 頁に各委員等から以下のような意見や感想が寄せられた。
 - * 取組目標や「取組み 1」等で整理することで、大変読みやすくなり、分かりやすくなったと思う。
 - * 自由記述のコメント欄がとても大切で、事業を開始するまでにどのようなきっかけや経緯があり、どのような人的ネットワークを設けたのか、自治体や地域や学内で事業を責任を持って進めていく担当者の体制や連携をどうしたのか、紹介して欲しい。
 - * 自治体との連携のきっかけ、参加学生の募集方法、単位の取扱いなど、関心の高い内容を抽出してまとめてはどうか。
 - * 担当者になったときに困るポイントとして、「まず何をやればいいのか」ではないかと思う。自治体の関連部署との情報収集、連携協定の準備、学内・自治体等の担当者会議の開催準備を紹介することで、「学内にこういう組織や人材がいて、こういう連携体制を自治体や地域と構築すればいいのか」という情報を共有できるようにする。このプラットフォームの情報を学内に持ち帰れば、地域連携事業の立ち上げがスムーズになり、未経験の教職員でも地域連携事業を推進できるようになると考える。
- ③ 次いで、Google Classroom への書込みと記述ルールについて検討した結果、「経緯、概要、成果、ノウハウ、展望」の 5 項目で表記することになり、高齢者支援事業、地域価値支援事業について委員及びコンソーシアム参加校で 5 月末日に向け、それぞれ作成することにした。なお、表記の方法は、1 項目当たり 2 行で 110 文字程度とし、音声・映像などを含めることにした。
- ④ 今年度コンソーシアムの取組については、特に、地域価値支援事業は拠点校の取組みから、コンソーシアム参加校の学生がプラットフォームで意見や考えを出し合う場を設ける協働の学びを展開することを目指すことになり、「展望」に掲載することにした。

3. その他（今後の日程）

次回は、8 月 9 日 14 時にコンソーシアムプラットフォームの確認と、参加校協働による今後の進め方について確認することにした。